

1 学校関係者評議委員（出席者）

- ・大西 政年 氏（学校運営協議会会長）
- ・小野 英昭 氏（学校運営協議会副会長）
- ・永井 和弘 氏（学校運営協議会委員）
- ・須山 盾夫 氏（学校運営協議会委員）
- ・源代しのぶ 氏（学校運営協議会委員）
- ・岡 俊守 氏（学校運営協議会委員）
- ・山田 浩司 氏（学校運営協議会委員）
- ・山下 和之 氏（学校運営協議会副会長）
- ・石村 耕一 氏（学校運営協議会副会長）
- ・加藤三香子 氏（学校運営協議会委員）
- ・白石 晃典 氏（学校運営協議会委員）
- ・藤田 利郎 氏（学校運営協議会委員）
- ・高松由香里 氏（学校運営協議会委員）
- ・越智 誠司 氏（学校運営協議会事務局）

2 学校関係者評価結果

令和3年2月17日実施

(1) 学校からの報告

今年度も「2 南中学校教育活動に満足している（南中に入学させてよかった）」、「9 学校からの情報は適切に行われている」、「10 学校行事は、適切に行われている」など多数の高評価をいただいた。しかし、「4 いじめのない楽しい学校・学級づくりに努めている」の項目は、取組に対する意識に教職員と生徒や保護者とでは差があり、一人一人の生徒を大切にしていくなかで取組に課題があるといえる。生活日記指導や教育相談を充実させ、「相談しやすく・個に応じた指導を大切にする学校」を目指して教育活動を推進する。また、「11 校区の教育的環境（人材や公的機関）を生かした教育活動が行われている」の項目については、当初計画していた職場体験学習や人権・同和教育基礎研修、防災体験学習、文化祭等を実施することができなかったが、今後さらに新型コロナウイルス感染症予防策を講じながら、計画的に実施する。学習面については、授業の中で「めあて」「流れ」を提示することで見通しをもった授業を実施し、「振り返り」を丁寧に行うことで基礎・基本の定着に努め、家庭学習が充実するように教育活動を推進していく。

今後も、家庭や地域と連携・協力し、基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上を図るとともに、「学力向上」、「規範意識の高揚」、「道徳教育の充実」を柱とした、魅力ある学校づくりに励んでいきたい。

(2) 質疑・応答・感想

ア 防災体験学習は今年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったが、来年度は地域・小学校と連携して共同で実施できるといいかなと思う。お互い協力できたらと思う。

→ 小学校校区ごとに小・中学校合同で同じ目的で防災体験学習ができるといい。地域の方にもご協力いただき、地域のお年寄りの方と一緒に避難するなど災害発生時を想定して活動する具体的で効果的な防災体験学習を是非実施したい。ご協力をお願いしたい。

イ 文化祭は実施できなかったが、学年ごとの合唱コンクールを開催していただき、レベルが高く心のこもった合唱で感動した。体育館で鑑賞していると、合間に各教室で練習している声も聞こえてきたが、どのクラスも真剣に取り組んでいてすばらしかった。その他の行事も制限がある中で工夫して行っていただき、大変ありがたかった。

金栄小学校ドリームツリー点灯式では、例年通りの催し物ができなかったにも関わらず、吹奏楽部の演奏協力があったおかげで盛大に行うことができ、感謝している。中学生の力は大きいなど感動した。

→ 来年度も生徒一人一人を大切にしたい行事とし、体験活動を通して主体性が育つような内容を検討し、より良いものにしていきたい。今年度は実施できなかった文化祭でのPTAバザー等の協力をお願いしたい。学校・地域・家庭が連携し、生徒一人一人の成長につなげていきたい。

ウ 南中出身者はおとなしい人が多い。社会に出たら、積極性が大切です。たくましい生徒に育ててほしい。

→ 話し合い活動等を通して「主体的・対話的で深い学び」を実践するとともに、生徒会活動、部活動、学校行事等の体験活動を通して、南中学校の教育目標である「自ら学び 心豊かで たくましい 生徒の育成」に努める。

エ 南中の生徒で部活動の帰りと思われる時間帯に、さわやかに元気に挨拶していただいた。とても気持ち良かった。これからも素直で挨拶ができることを大切に育ててほしい。

全体的に高い評価であった。コミュニティ・スクールとして地域・家庭・学校が連携・協働して教育活動に取り組んでいることが徐々に現れてきている成果であると思う。「誰一人取り残さない教育」を大切にし、地域に開かれた、地域とともにある南中学校となるよう、来年度は更に良いものを目指し、教職員一丸となって取り組んでいく。